

2021年12月期

第2四半期決算説明会

2021年8月4日

荏原実業株式会社



目次

1. 2021年12月期 第2四半期サマリー

2. 事業概要

- 事業概要
- 環境関連（メーカー事業）一覧表

3. 2021年12月期 第2四半期決算概要

- 決算報告
- 決算のポイント
- セグメント別決算推移
- セグメント別状況報告
- 受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

4. 2021年12月期 通期事業計画

- 通期業績への見通し
- 連結通期事業計画
- 計画の前提条件（セグメント別計画）

5. 外部環境と事業戦略

- 外部環境と事業戦略
- セグメント別戦略

6. 中期経営計画「EJ2023」

7. 資本政策・株主還元

8. 新市場区分「プライム市場」適合について

9. 資料編

2021年12月期 第2四半期サマリー

2021年12月期第2四半期 増収増益

- 感染症対策製品の売上高増加
- 上下水道設備の更新案件も堅調
- 売上総利益率上昇

2021年12月期通期業績見通し

- 通期事業計画に向けて堅調に推移
- 現時点では通期事業計画に変更なし

中期経営計画「EJ2023」

- ビジョンや基本方針は変えず、計画実現に至るアプローチや計画数値を見直し
- 事業環境、業績動向を精査し、通期決算発表（2022年2月）までに新中期経営計画を公表

資本政策、株主還元

- 株式分割、増配、自己株式の取得

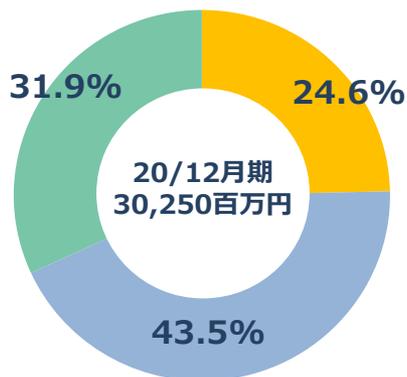
新市場区分「プライム市場」適合について

事業概要

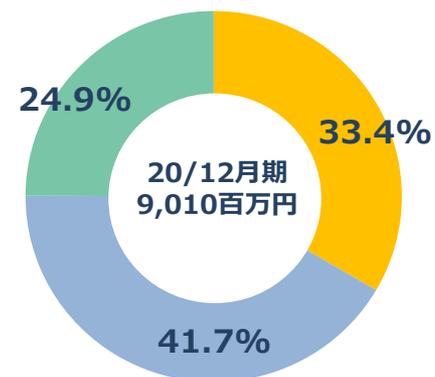
「3つの事業セグメント」



【売上高】



【売上総利益】



環境関連（メーカー事業）

計測、省エネ・創エネ、脱臭、水処理、医療等の分野で製品の開発から販売までを行う事業

自社製品を扱う最も注力している事業
利益率が高く、売上総利益構成比50%を目標

水処理関連（エンジニアリング事業）

上下水道関連施設の設計・施工からメンテナンスまでトータルサービスを展開する事業

更新・修繕需要や防災需要は堅調
事業領域を開拓・拡大

風水力冷熱機器等関連（商社事業）

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を商業ビル等の各種建築物や工場向けに販売する事業

主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力
再開発案件に対応

環境関連（メーカー事業）一覧表

分野	事業内容	主要顧客	製品例
計測	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売 ◆ 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設（高度浄水施設、下水処理施設） ◆ 民間工場（半導体、液晶、食品など） 	 <p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>半導体用オゾンモニタ</p>
省エネ・創エネ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売 ◆ 省エネプロワを中心とする送風機の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 民間企業（空調機メーカー、オフィスビルなど） ◆ 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 	 <p>住宅用蓄電池</p>  <p>省エネプロワ</p>
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売 ◆ 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設（下水処理施設、農業集落排水施設） ◆ 民間工場（食品、飲料など） ◆ 商業施設（除害設備） 	 <p>腐植質脱臭剤</p>  <p>生物脱硫装置</p>
水処理プラント	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工 ◆ 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） ◆ 公共施設（水産試験場など） 	 <p>高効率砂ろ過器</p>  <p>海水電解殺菌装置</p>
医療	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売 ◆ その他 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療機関、自治体、中央官庁など ◆ 民間企業、民間工場など 	 <p>簡易陰圧装置</p>  <p>オゾン室内消毒装置</p>

2021年12月期 第2四半期 決算報告

売上高 29.2億円増 (18.2%増)

営業利益 12.9億円増 (65.1%増)

四半期純利益 11.2億円増 (78.9%増)

受注高 3.5億円減 (2.2%減)

受注残高 4.7億円増 (2.6%増)

(単位：百万円)	19/12月期 第2Q		20/12月期 第2Q		21/12月期 第2Q		前年同期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	15,652	100	16,087	100	19,013	100	+ 18.2	+ 2,926
売上総利益	4,256	27.2	4,802	29.8	6,463	34.0	+ 34.6	+ 1,661
販管費	2,705	17.3	2,819	17.5	3,191	16.8	+ 13.2	+ 372
営業利益	1,551	9.9	1,982	12.3	3,271	17.2	+ 65.1	+ 1,289
経常利益	1,631	10.4	2,062	12.8	3,334	17.5	+ 61.7	+ 1,272
四半期純利益	1,147	7.3	1,428	8.9	2,555	13.4	+ 78.9	+ 1,127

受注高	11,545	-	15,533	-	15,184	-	▲ 2.2	▲ 349
受注残高	15,082	-	18,424	-	18,899	-	+ 2.6	+ 475

2021年12月期 第2四半期 決算のポイント

市場環境

- ◆ 公共分野では、上下水道設備の更新需要が堅調、国土強靱化基本法に基づく防災・減災需要も増加
- ◆ 民間分野では、景気の先行き不透明感から設備投資が停滞、特に民間工場、水産関連で顕著
- ◆ 感染症対策製品に対する補助金動向は不透明、需要は逡減傾向

売上高 前年同期比 +29.2億円 (+18.2%)

- ◆ 上下水道設備の更新案件、感染症対策製品が増加
- ◆ 民間設備投資案件は減少

売上総利益 前年同期比 +16.6億円 (+34.6%)

- ◆ 感染症対策製品、上下水道設備の更新案件の売上高増により環境関連、水処理関連で増加
- ◆ 民間設備投資案件の売上高減少により風水力関連減少
- ◆ 全てのセグメントで売上総利益率上昇
(全社売上総利益率29.8%⇒34.0%)

営業利益 前年同期比 +12.9億円 (+65.1%)

- ◆ 人件費、減価償却費等の増加により販管費は増加するものの、売上総利益の増加により営業利益増加

受注高 前年同期比 ▲3.5億円 (▲2.2%)

- ◆ 前年同期受注の大型案件（雨水排水施設）の反動減
- ◆ 環境関連、風水力関連は増加

受注残高 前年同期比 +4.7億円 (+2.6%)

- ◆ 環境関連は、売上高増加により減少
- ◆ 水処理関連、風水力関連は増加

2021年12月期 第2四半期 セグメント別決算推移

(単位：百万円)		19/12月期 2Q	20/12月期 2Q	21/12月期 2Q	前年同期比	
					増減率(%)	増減額
環境関連 (メーカー事業)	受注高	2,219	3,334	3,510	+ 5.3	+ 176
	売上高	2,660	2,901	5,591	+ 92.7	+ 2,690
	売上総利益	1,062	1,175	2,494	+ 112.2	+ 1,319
水処理関連 (エンジニアリング事業)	受注高	3,555	7,380	6,506	▲ 11.8	▲ 874
	売上高	7,488	8,000	8,949	+ 11.9	+ 949
	売上総利益	2,047	2,371	2,825	+ 19.2	+ 454
風水力関連 (商社事業)	受注高	5,769	4,817	5,167	+ 7.3	+ 350
	売上高	5,503	5,185	4,472	▲ 13.8	▲ 713
	売上総利益	1,146	1,255	1,143	▲ 8.9	▲ 112

セグメント別 状況報告

環境関連 (メーカー事業)

受注高 **+1.7億円 (+5.3%)**

(単位:百万円)

分野	増減要因	増減
計測	浄水場向け更新需要が谷間、半導体関連需要は増加	▲34
省エネ・創エネ	コロナ禍で蓄電池の認証に遅れが生じる	▲70
脱臭	豪雨対策に関連した脱臭フィルターの需要増加	+593
水処理プラント	コロナ禍で民間工場向け・水産関連需要減少	▲427
医療	感染症対策製品に対する補助金動向が不透明、需要は遞減傾向	+114

受注高 (環境)

(単位:百万円)



売上高 **+26.9億円 (+92.7%)**

(単位:百万円)

分野	増減要因	増減
計測	半導体関連需要が増加	+192
省エネ・創エネ	コロナ禍で蓄電池の認証に遅れが生じる	▲3
脱臭	脱臭剤の更新需要は安定的に推移	+7
水処理プラント	前期受注の大型化学工場向け排水プラント売上計上	+121
医療	3月までに前期末受注残を出荷し、感染症対策製品は大幅増加	+2,373

売上高 (環境)



売上総利益 **+13.2億円 (+112.2%)**

- ✓ 売上高増加に伴い売上総利益も増加
- ✓ 自社製品の優位性を生かした高い売上総利益率を継続して確保
- ✓ セールスマックスの変動による売上総利益率の上昇

売上総利益 (環境)

■ 売上総利益率

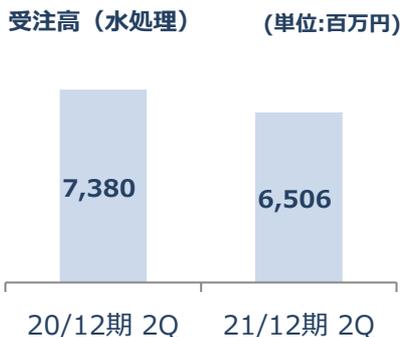


セグメント別 状況報告

水処理関連 (エンジニアリング事業)

受注高 ▲8.7億円 (▲11.8%)

- ✓ 上下水道設備の更新案件、国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要の増加によって市場環境は良好
- ✓ ただし、前年同期受注の大型案件(雨水排水施設)の反動減により減少



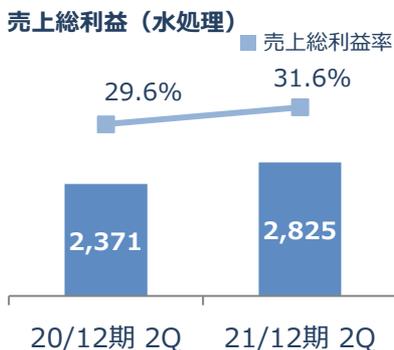
売上高 +9.5億円 (+11.9%)

- ✓ 上下水道設備の更新案件が引き続き増加
- ✓ 雨水排水設備等の防災・減災案件も増加



売上総利益 +4.5億円 (+19.2%)

- ✓ 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる売上総利益率の上昇



風水力冷熱機器等関連 (商社事業)

受注高 +3.5億円 (+7.3%)

- ✓ 空調関連機器の大口案件が寄与し増加



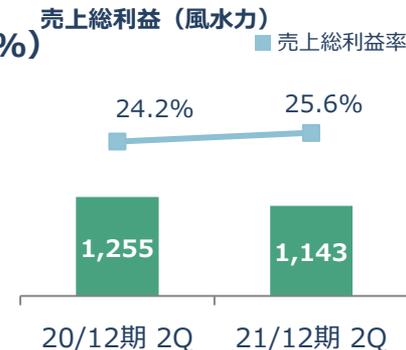
売上高 ▲7.1億円 (▲13.8%)

- ✓ 民間設備投資に停滞感が見られる



売上総利益 ▲1.1億円 (▲8.9%)

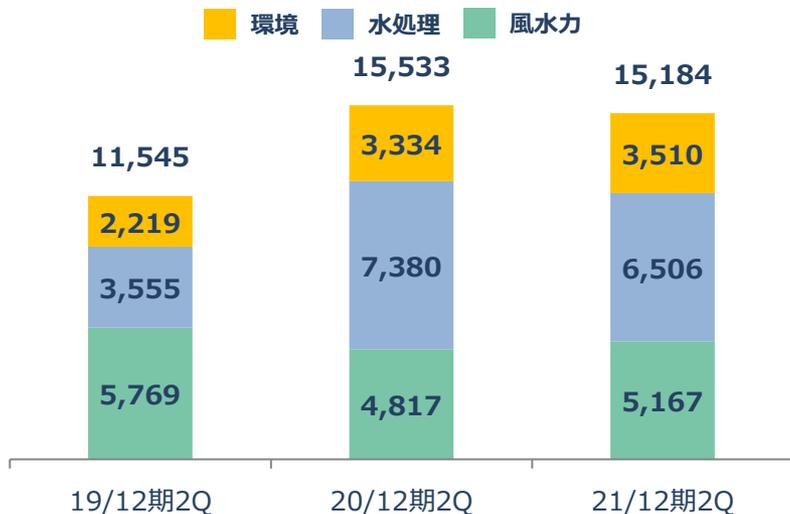
- ✓ 選別受注、原価低減活動、業務効率化などにより売上総利益率向上を図り、売上高減少の影響を最小限に留める



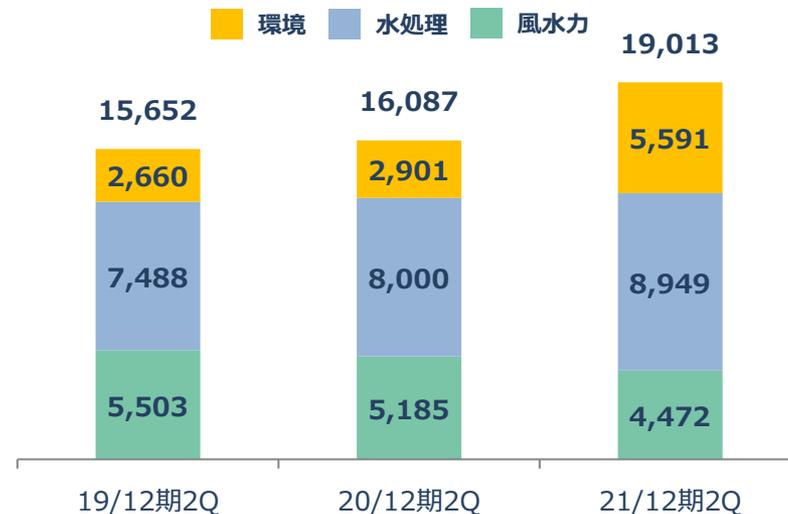
受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

(単位：百万円)

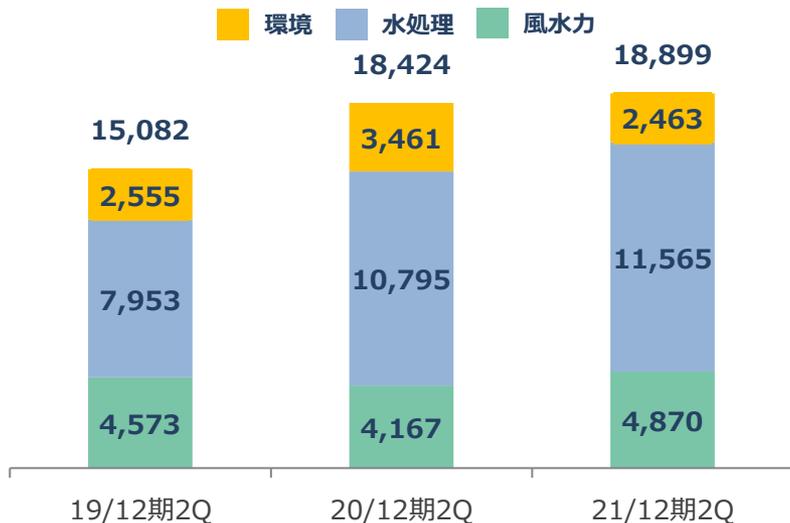
【受注高の推移】



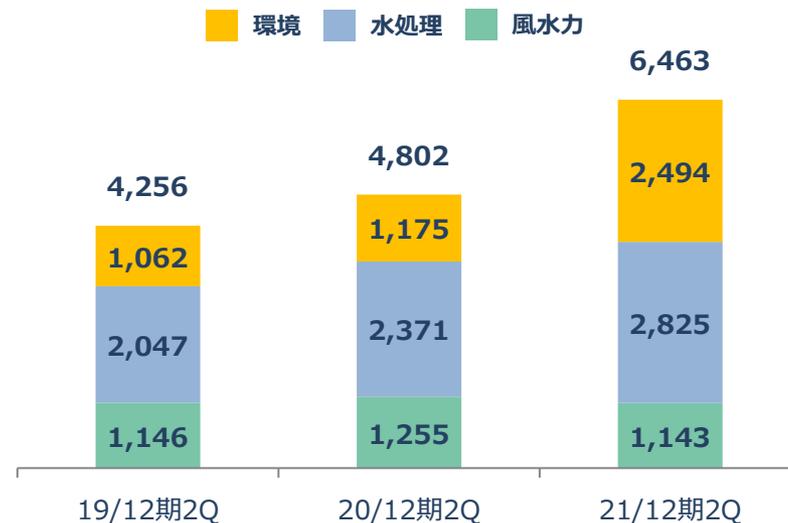
【売上高の推移】



【受注残高の推移】



【売上総利益の推移】



2021年12月期通期業績への見通し

通期事業計画に変更なし

- ◆ 第2四半期累計期間の業績は、当期（四半期）純利益において、通期業績予想を上回る
- ◆ しかし、業績の季節的変動要因に加え、コロナ禍で今後の業績を高い確度で見積もることが困難
- ◆ 現時点では変更なしとするものの、業績の見込が把握できた段階で速やかに公表

◆ 第3四半期以降のセグメント別見通し

環境関連

- 計測分野の半導体関連需要は当面堅調
- 省エネ・創エネ分野の蓄電池事業は進捗に遅れ
- 感染症対策製品に対する補助金動向が不透明、需要は遞減傾向
- 水処理プラント分野の工場向け需要など民間設備投資の回復には時間がかかる

水処理関連

- 上下水道設備の更新案件、雨水排水設備等の防災・減災案件は堅調に推移する見込

風水力関連

- 民間設備投資の回復は、コロナ禍からの経済回復状況に依存

◆ 第2四半期と通期事業計画の比較

(単位：百万円)			21/12月期 2Q実績	21/12月期 通期事業計画
受	注	高	15,184	31,000
売	上	高	19,013	33,000
売	上	総 利 益	6,463	9,600
営	業	利 益	3,271	3,400
当期（四半期）純利益			2,555	2,500

◆ 第2四半期までの通期業績に対する進捗率【過去5期平均進捗率との比較】

			過去5年間の 平均進捗率	21/12月期 2Q進捗率
受	注	高	43%	49%
売	上	高	55%	58%
売	上	総 利 益	56%	67%
営	業	利 益	76%	96%
当期（四半期）純利益			74%	102%

進捗率 = 第2四半期実績 ÷ 通期実績（当期は計画値）

- ◆ 受注残高増加を背景に売上高増加を計画
- ◆ 公共分野では、上下水道設備の更新需要、防災需要が引き続き堅調に推移する見込
- ◆ 感染症対策製品の需要動向は、補助金の動向が未確定なため、補助金が無い前提で計画

(単位：百万円)	20/12月期		21/12月期 計画		前期比	
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	34,000	-	31,000	-	▲ 8.8	▲ 3,000
売上高	30,250	100.0	33,000	100.0	+ 9.1	+ 2,750
売上総利益	9,010	29.8	9,600	29.1	+ 6.5	+ 590
販管費	5,795	19.2	6,200	18.8	+ 7.0	+ 405
営業利益	3,214	10.6	3,400	10.3	+ 5.8	+ 186
経常利益	3,363	11.1	3,600	10.9	+ 7.0	+ 237
当期純利益	2,342	7.7	2,500	7.6	+ 6.7	+ 158
1株当たり配当金	110円	-	(※)	-	-	-

※ P31 2. 株主還元①配当 参照

計画の前提条件（セグメント別計画）

※2021年2月10日公表

環境関連（メーカー事業）計画

- ◆ 受注高 - 計測分野、省エネ・創エネ分野が増加
- 医療分野は、補助金が無い前提で減少を見込む
- ◆ 売上高 - 受注残高を背景に医療分野が増加
- 計測分野、省エネ・創エネ分野も増加
- ◆ 売上総利益 - 利益率は例年同水準、売上高増加に伴い増益

環境関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	8,972	7,400	-	▲ 17.5	▲ 1,572
売上高	7,456	9,200	100.0	+ 23.4	+ 1,744
売上総利益	3,011	3,700	40.2	+ 22.9	+ 689

水処理関連（エンジニアリング事業）計画

- ◆ 受注高 - 前期大型の雨水排水施設受注の反動減
- 上下水道設備更新需要は堅調
- ◆ 売上高 - 受注残高を背景に増加
- ◆ 売上総利益 - 利益率は前期並、売上高増加に伴い増益

水処理関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	15,748	13,600	-	▲ 13.6	▲ 2,148
売上高	13,155	13,800	100.0	+ 4.9	+ 645
売上総利益	3,752	3,900	28.3	+ 3.9	+ 148

風水力冷熱機器等関連（商社事業）計画

- ◆ 受注高・売上高 - 感染症拡大の影響による停滞から徐々に回復
- ◆ 売上総利益 - 利益率は前期水準を下回る

風水力冷熱 機器等関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期 計画		前期比	
			構成比 (%)	増減率 (%)	増減額
受注高	9,278	10,000	-	+ 7.8	+ 722
売上高	9,639	10,000	100.0	+ 3.7	+ 361
売上総利益	2,246	2,000	20.0	▲ 11.0	▲ 246

販管費 研究開発費、人件費の増加を見込み約4億円（7.0%）の増加

営業利益 販管費の増加を売上総利益の増加が吸収し、増益を計画

外部環境と事業戦略

外部環境

- ◆ 人口減少・節水化
- ◆ 使用料収入減少
- ◆ 施設・設備老朽化
- ◆ 技術職員不足
- ◆ 自然災害多発

◆ 新型コロナウイルス

- ◆ 再開発事業
- ◆ 大規模金融緩和策
- ◆ 脱炭素社会の機運

需要動向

上下水道分野

- ◆ 国内需要は長期的には緩やかに減少
- ◆ イニシャル・ランニングコスト削減
- ◆ 省人・省エネ化
- ◆ 遠隔監視・自動制御
- ◆ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
- ◆ 広域化・集約化の機運の高まり

《上下水道関連工事受注高の推移》



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成
※数字は「下水道」と「上・工業水道」の合計

建築設備分野

- ◆ 国内需要はコロナ禍で停滞
- ◆ 高度成長期に建造されたビルの老朽化
- ◆ 2020年以降のプロジェクトの顕在化
- ◆ 顧客ニーズの多様化・高度化

《建設工事受注高の推移》



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

事業戦略

メーカー事業（環境セグメント）を核とした成長基盤の構築

- ◆ 新事業の創出、新製品開発の加速
- ◆ 事業領域の拡大
- ◆ 安定的収益基盤の確立

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

1. 新製品の投入

- ◆ ZEBに続き、ZEHの取組みを強化、感染症対策製品のラインナップ強化

2. 現有製品群のブラッシュアップ^o

- ◆ 実績のある製品は利益を重視
- ◆ 「高度処理」「省エネ」「AI/IoT」「環境負荷軽減」「安心安全」のニーズに対応する形で競争力を強化

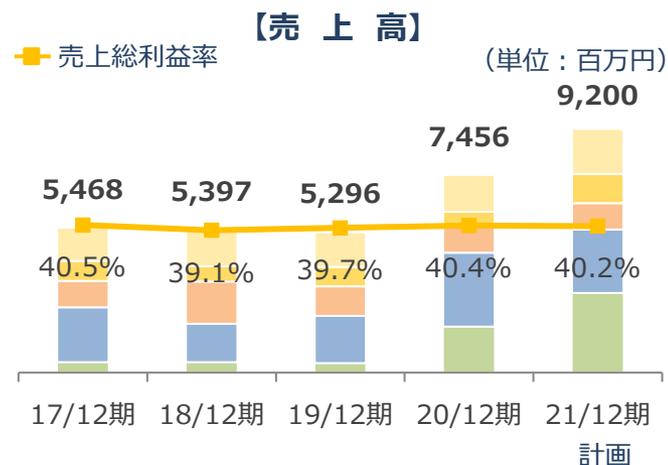
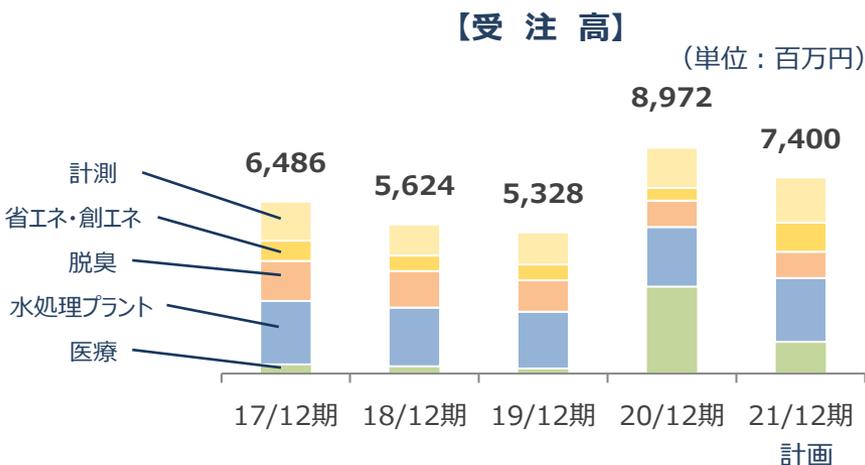
3. メンテナンス・サービスの強化

- ◆ アフターサービスを充実させ、外部環境に左右されない収益基盤として育成
- ◆ 医療分野において、感染症対策製品のアフタービジネス体制を整備

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

業績動向

- ◆ 感染症対策製品の需要は逡減傾向
- ◆ 省エネ・創エネ分野の蓄電池事業に遅れが生じている
- ◆ 計測分野の半導体向け需要は当面堅調に推移
- ◆ コロナ禍で民間工場向け・水産関連需要減少



※各分野の推移詳細は、本冊子末の「セグメント別 業績推移 (通期)」をご参照ください。

顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

1. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底

- ◆ 施工能力の向上・価格競争力の向上に向けた協力会社との連携強化

2. 実績の少ないエリアでの受注活動の強化

- ◆ '18年に栃木県、'19年に新潟県、'20年には北海道に拠点を開設

3. 防災需要への対応

- ◆ 自然災害の多発を受けて、公共事業費が増額
- ◆ ポンプなど排水設備の整備需要が拡大

顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

業績動向

- ◆ 上下水道設備の更新案件と自然災害多発による雨水排水施設等の防災・減災案件の増加
- ◆ 採算性を重視した受注と施工能力の強化により、利益率は上昇傾向
- ◆ 21/12期受注高は20/12期受注の大型案件(雨水排水施設)の反動減



創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

1. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化

- ◆ 上流段階からの対応力向上とコスト競争力の向上

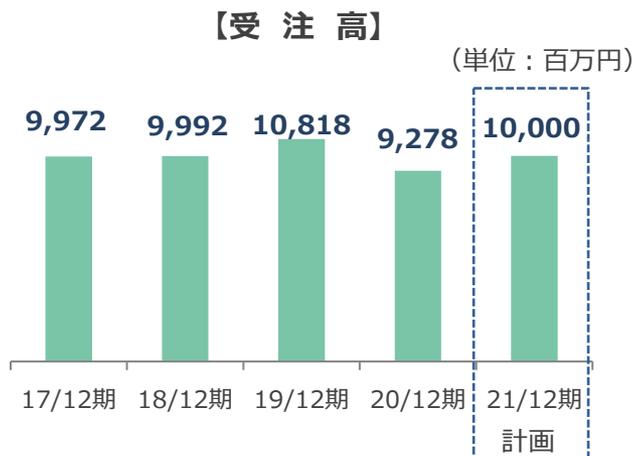
2. 多様な顧客層へのアプローチ

- ◆ 的確な対応と提案営業強化
- ◆ 豊富な納入実績を活用した新規顧客の開拓

創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

業績動向

- ◆ 採算性を重視し、高水準の利益率を維持
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、民間設備投資に停滞感



中期経営計画「EJ2023」



中期経営計画「EJ2023」

① E J 2023の進捗状況

- ◆ 20/12実績及び21/12計画の営業利益は、医療分野の特需があったものの、
EJ2023最終年度の営業利益計画を超えている

→ E J 2023のビジョンや基本方針は変えないものの、実現に至るアプローチや数値計画は見直しが必要とし、一旦 E J 2023を保留としている。(2021年2月)

	19/12実績	20/12実績	21/12計画	23/12 EJ2023	20/12までの 達成率
売上高	28,431	30,250	33,000	35,000	86%
売上総利益	7,621	9,010	9,600	9,500	95%
販管費	5,596	5,795	6,200	6,500	89%
営業利益	2,024	3,214	3,400	3,000	107%

中期経営計画「EJ2023」

② EJ 2023の見直しについて

- ◆アフターコロナの事業環境、業績動向、製品開発状況を精査した上で、新たな数値計画を策定し、
通期決算発表（2022年2月）までに新中期経営計画を公表
 - ✓ ウイズコロナ・アフターコロナの医療分野の動向
 - ✓ 蓄電池事業の進捗状況
 - ✓ 脱炭素社会に向けた製品開発の進捗状況
 - ✓ 国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要の動向
 - ✓ 民間設備投資の回復状況

- ◆「目指す3つの経営指標」及び中期経営計画の「ビジョンや基本方針」については、現状を維持

中期経営計画「EJ2023」：ビジョン・成長イメージ

ビジョン

当社が大切にしている価値

社会性

トータル環境ソリューション
カンパニーへの進化

顧客価値

顧客課題解決型の
高収益率企業へ

ブランド

EJブランドの確立
社員がプライドを持てる会社

社内活性化(人・組織づくり)

中期経営計画「EJ2023」：方針

環境関連（メーカー事業）の拡大による飛躍的な成長を目指す

基本方針1：新事業の創出、新製品開発の加速

これまでの研究開発活動の成果を基に、新事業の創出、新製品の市場投入を加速

- ◆ZEB、ZEH関連市場への進出
- ◆オゾン技術を利用した新市場への進出
- ◆水産関連における省エネシステム
- ◆水処理×IoT/AI領域の製品開発

基本方針2：事業領域の拡大

既存事業の顧客、エリア拡大、顧客ニーズに対応する製品、技術、サービスを整備

- ◆上下水道事業のエリア拡大
- ◆商社事業のエリア拡大
- ◆防災需要への対応
- ◆OEM製品および取扱製品の充実

基本方針3：安定的収益基盤の確立

既存事業の収益性を一層向上させ、ストックビジネスを強化

- ◆メンテナンス体制を強化し、アフターマーケットを獲得
- ◆積算精度の向上による受注拡大
- ◆原価低減による収益性向上

資本政策・株主還元



資本政策・株主還元の基本方針

- ◆ 成長投資による利益拡大
- ◆ ROEは10%台前半の継続を目指す
- ◆ 連結配当性向35%を目安とした安定的・継続的な配当
- ◆ 自己株式取得を機動的に実施
- ◆ 財務健全性、資本効率、利益還元のバランスを追求

1. 株式分割

目的

株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、
投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、
株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ること

分割の概要

① 分割の方法

2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施

② 分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,715,000 株
株式分割による増加株式数	6,715,000 株
株式分割後の発行済株式総数	13,430,000 株

2. 株主還元

基本方針

- ◆ 連結配当性向35%を目安に安定的な配当を継続的に実施
- ◆ 利益還元の一つとして、資金需要・株価水準等を考慮しながら、機動的に自己株式を取得

① 配当

- ◆ 2021年5月18日に配当予想を修正（増配）
- ◆ 業績を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を目的に配当予想を修正
- ◆ 分割前基準で期初予想の1株当たり140円から150円へ10円増配

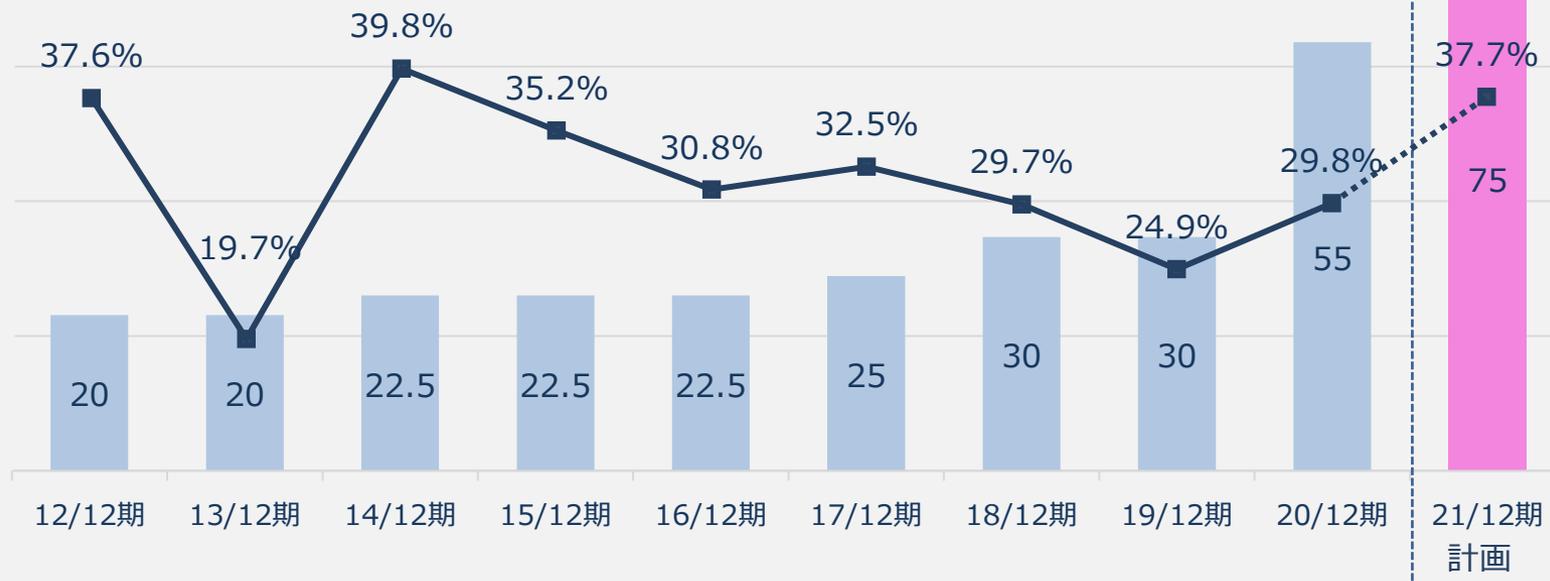
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
期初予想	70円00銭	70円00銭	140円00銭
5/18付修正予想 (分割前換算)	75円00銭 (75円00銭)	37円50銭 (75円00銭)	- (※) (150円00銭)
前期実績	30円00銭	80円00銭	110円00銭

※2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施
株式分割の実施により単純計算ができないため合計は表示していません

1 株当たり年間配当金の推移

(2021年度以前についても株式分割後の値に変換)

■ 配当金 ■ 配当性向



2. 株主還元

② 自己株式の取得

◆ 株主還元の拡充を図るとともに、資本効率の向上を図るために、自己株式の取得を実施

◆ 自己株式取得の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	450,000 株（上限） （発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合3.57%）
(3) 株式の取得価額の総額	10億円（上限）
(4) 取得期間	2021年8月5日から2021年11月30日
(5) 取得方法	自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付

◆ 自己株式取得の実績

取得時期	取得株式数	発行済み株式数 に対する割合
2018年5月	115,000 株	1.71%
2020年3月	307,500 株	4.66%

※上記自己株式取得実績は、2021年7月1日付株式分割前基準

新市場区分「プライム市場」適合に関するお知らせ

- ◆ 2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果」を受領
- ◆ 「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認



「プライム市場」の選択を前提に手続きを進める

資料編



計測分野

事業概要

- ・ オゾンモニタを中心とする計測機器の製造及び販売
- ・ 主な販売先は、上下水道の高度処理施設や液晶・半導体工場（国内トップシェア）
- ・ 売上の半分をメンテナンスが占めており、業績は安定

事業戦略

- ◆ オゾンモニタの新市場として海外を開拓（販売チャネル強化）
- ◆ 水質測定器及びオゾン発生器は、新規販路の拡大に向けた用途開発を継続
- ◆ 産学連携は、将来を展望し、事業化に向けた取組みを支援

上期までの状況と下期以降の見通し

- ◆ 上下水道の高度処理向けオゾンモニタは、更新需要の谷間
- ◆ 半導体向けオゾンモニタは当面高い水準の需要
- ◆ コロナ禍で海外開拓は進まず
- ◆ 引き続き大学と連携した研究開発を推進



高精度オゾンモニタ



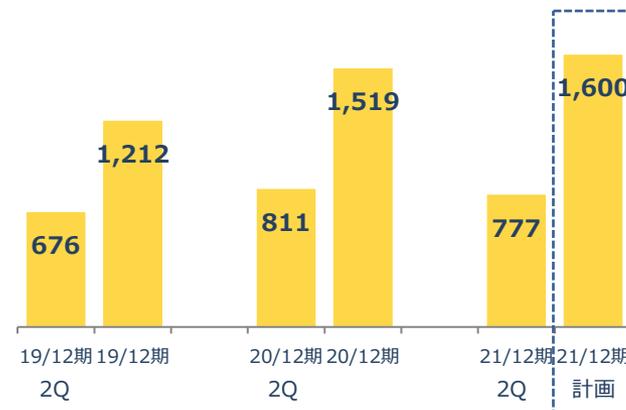
半導体用オゾンモニタ



多項目水質計器

【計測分野 受注高】

（単位：百万円）



省エネ・創エネ分野

事業概要

- ・ 太陽光発電パネルや蓄電システム等、ZEH関連製品の開発及び販売
- ・ 高効率のターボブロワを中心とする送風機の製造及び販売
- ・ MMR空調機・除湿機等、ZEB関連製品の開発、設計及び施工

事業戦略

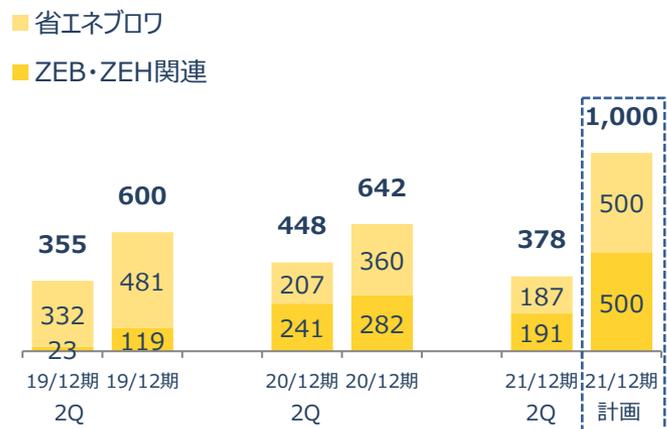
- ◆ 住宅用リチウムイオン蓄電システムの販売を上期に開始
- ◆ 省エネブロワは、曝気以外の用途で、顧客ターゲティングと営業活動を実行
- ◆ MMR空調機及び除湿機は、スペックイン（設計段階での当社製品の採用）を推進

上期までの状況と下期以降の見通し

- ◆ コロナ禍で、住宅用蓄電池の補助金対象製品としての認証が遅延、蓄電システムの本格的な販売開始時期に遅れ
- ◆ 省エネブロワは、コロナ禍で民需計画件数減少
- ◆ MMR空調機は、コロナ禍で海外メーカーとのアライアンス進まず
- ◆ 除湿機は、保守管理体制を整備し、下期以降の拡販に備える



【省エネ・創エネ分野 受注高】 (単位：百万円)



脱臭分野

事業概要

- 腐植質由来の産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・脱臭装置の製造及び販売
- 主な販売先は、下水処理場と工場等の除害施設

事業戦略

- ◆ 産業用脱臭剤は、装置の工事を伴わない物販を推進
- ◆ 脱臭フィルタは、内製化推進（コスト低減）と雨水地下貯留施設の需要へ対応
- ◆ 生物脱硫装置は、パートナー企業の探索など販売チャネルを強化

上期までの状況と下期以降の見通し

- ◆ 国内の産業用脱臭剤市場は安定的ではあるが、成長性に欠ける
- ◆ 都市圏では雨水地下貯留施設の整備需要が顕在化（脱臭フィルタの需要増）
- ◆ 生物脱硫装置は、高濃度の処理における優位性をもとに、パートナー企業と共に拡販に努める



ボエフ（腐植質脱臭剤）



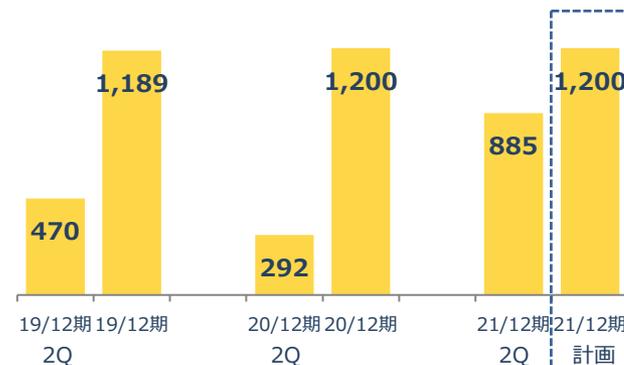
EKOフィルタ



生物脱硫装置

【脱臭分野 受注高】

（単位：百万円）



水処理プラント分野

事業概要

- ・ 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工
- ・ 養殖施設の設計及び施工、養殖業・栽培漁業向け装置の製造及び販売
- ・ 噴水等、水景施設の設計及び施工

事業戦略

- ◆ 産業用水設備と産業排水処理施設は、新規顧客開拓を推進（既存顧客への依存度縮小）
- ◆ 既存顧客へのメンテナンス・サービスの拡充
- ◆ 水処理×IoT/AI領域における事業機会の探索
- ◆ 陸上養殖システムの黎明期から蓄積した技術をもとに
閉鎖循環式に加え、新魚種の実用化を強化

上期までの状況と下期以降の見通し

- ◆ コロナ禍で、産業用水、排水施設需要、民間の水産関連需要が減少
- ◆ 水産関連でのメンテナンスサービスを強化
- ◆ 閉鎖循環式陸上養殖施設の研究開発を実施中



排水処理設備

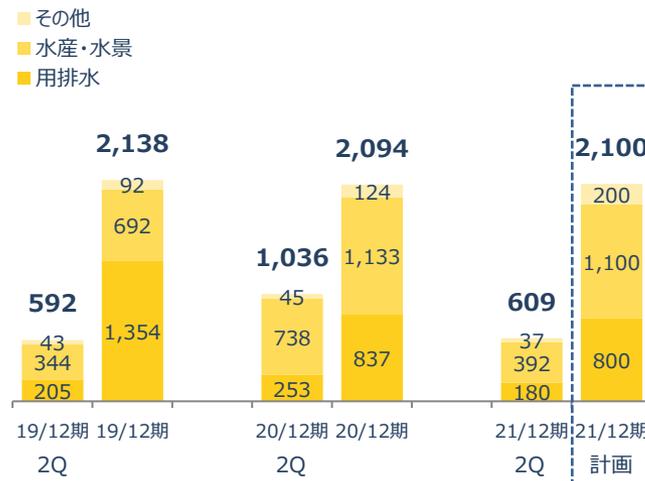


海水電解殺菌装置



エコシング（砂ろ過器）

【水処理プラント分野 受注高】（単位：百万円）



医療分野

事業概要

- ・ 感染症対策製品の開発、設計、販売及びサービス
- ・ 主に、全国の医療機関及び社会福祉施設へ納入
- ・ 簡易陰圧装置は、2003年の販売開始以降、300か所超の納入実績を有する
- ・ 空気清浄除菌脱臭装置(FDSシリーズ)は、当社がフクダ電子株式会社より受託し、OEM供給



簡易陰圧装置



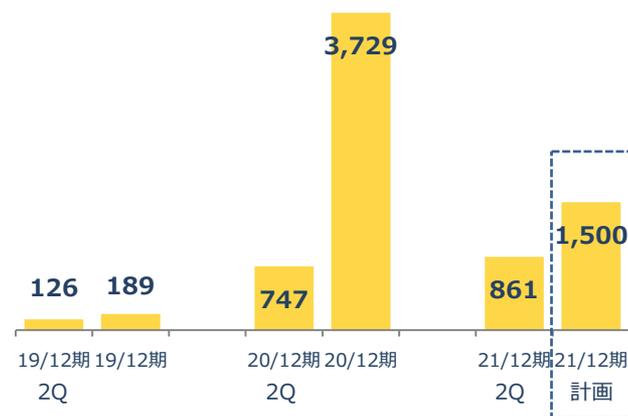
空気清浄除菌脱臭装置
(医療従事者向け)

事業戦略

- ◆ 全国の第二種感染症指定医療機関への納入実績を基に顧客基盤拡大を推進
- ◆ 累積納入実績を生かしたメンテナンス・サービス事業の拡充
- ◆ 生産管理体制及び品質管理体制の再構築（効率化）

【医療分野 受注高】

(単位：百万円)



感染症対策製品の需要動向

動向

- ◆ 3月までに前期受注残を出荷したため、売上は大幅増加
- ◆ 簡易陰圧装置ACEシリーズは、インフルエンザ整備として継続されていた補助金を利用した整備が多い傾向。病院独自予算や、その他の補助金の活用も
- ◆ 空気清浄機FDSシリーズは、薬局やクリニックに対する国と県の補助金に適合。過去最高の出荷台数を記録
- ◆ 4月以降の感染症対策製品に対する補助金動向が不透明、需要は遞減傾向

医療関連 (百万円)	20/12月期 2Q	21/12月期 2Q	前期比	
			増減率 (%)	増減額
受注高	747	861	+ 15.3	+ 114
売上高	320	2,693	+ 741.5	+ 2,373



- ◆ 秋口以降明確になると予想される、令和3年度の補助金動向に迅速に対応
- ◆ メンテナンス事業の体制を強化し、アフタービジネス拡大
- ◆ アフター／ウィズコロナに対応した新製品開発

簡易陰圧装置 ACEシリーズ

- ◆ プレフィルタ、紫外線ランプ、酵素HEPAフィルタのトリプル構造により、設置空間の空気感染リスクを低減
- ◆ CDC（アメリカ疾病管理予防センター）ガイドライン「空気予防策」に準拠
- ◆ 後付け可能で、既存の部屋を容易に陰圧環境に



《ACE-5000》

空気清浄除菌脱臭装置 FDSシリーズ*

- ◆ ハイパワー紫外線 + 抗菌HEPAフィルタによる強力な除菌効果
- ◆ ハイブリッド脱臭システムにより、アンモニア、ホルムアルデヒド、酢酸等のガスを迅速に脱臭

* FDSシリーズは、当社がフクダ電子株式会社より受託しOEM供給



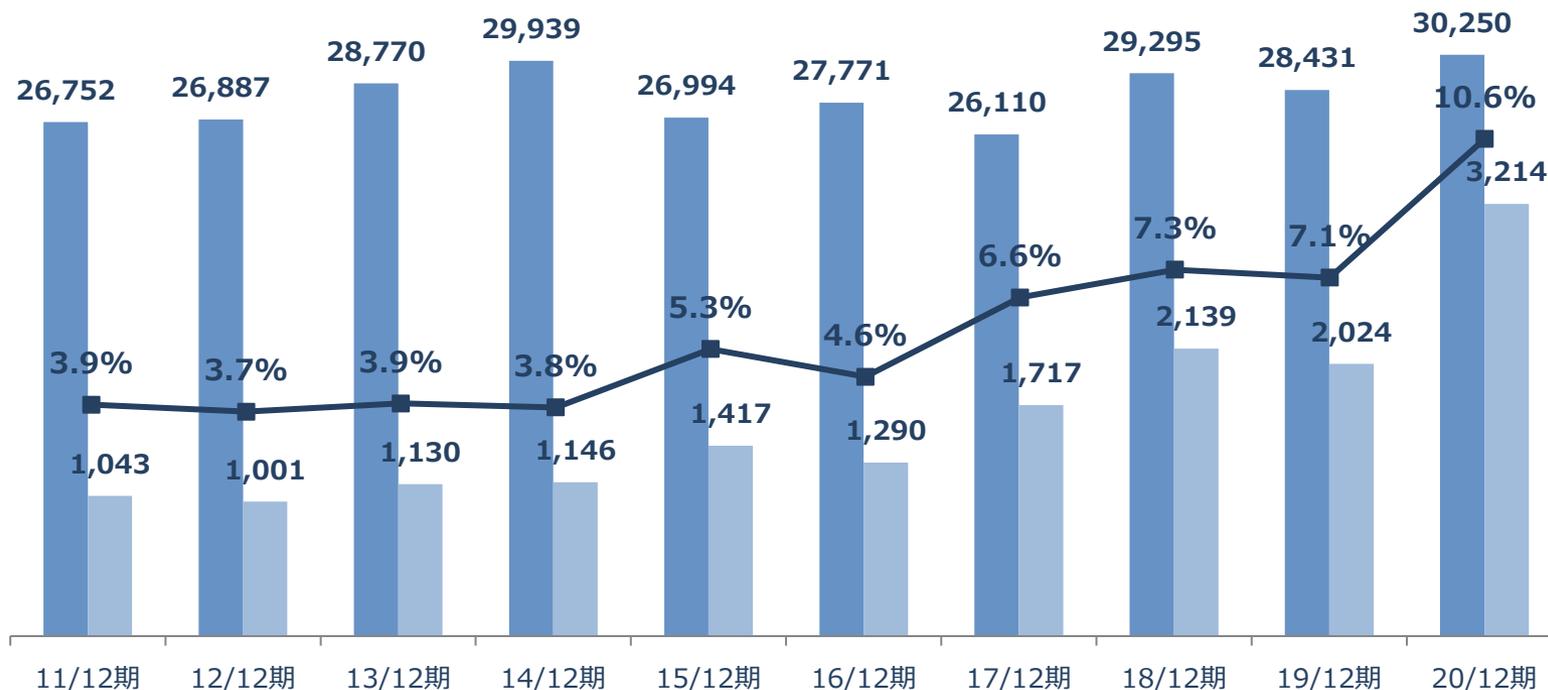
《FDS-ZERO》

連結通期業績推移（過去10年間の業績）

安定した売上高と増益基調を維持

【売上高・営業利益の推移】

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



セグメント別 業績推移 (上期)

		17/12月期 2Q		18/12月期 2Q		19/12月期 2Q		20/12月期 2Q		21/12月期 2Q	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
(単位：百万円)											
受注高	計測	711	+61.8%	604	△15.0%	676	+11.9%	811	+20.0%	777	△4.2%
	省エネ・創エネ	372	+364.8%	265	△28.8%	355	+34.0%	448	+26.2%	378	△15.6%
	脱臭	416	△6.1%	435	+4.6%	470	+8.0%	292	△37.9%	885	+203.1%
	水処理プラント	1,613	+119.7%	1,460	△9.5%	592	△59.5%	1,036	+75.0%	609	△41.2%
	医療	186	△9.5%	212	+14.0%	126	△40.6%	747	+492.9%	861	+15.3%
	環境関連 (メーカー)	3,300	+73.4%	2,976	△9.8%	2,219	△25.4%	3,334	+50.2%	3,510	+5.3%
	水処理関連 (エンジニアリング)	5,121	+8.5%	3,088	△39.7%	3,555	+15.1%	7,380	+107.6%	6,506	△11.8%
	風水力関連 (商社)	5,233	+0.5%	5,102	△2.5%	5,769	+13.1%	4,817	△16.5%	5,167	+7.3%
	連結合計	13,655	+15.4%	11,167	△18.2%	11,545	+3.4%	15,533	+34.5%	15,184	△2.2%
売上高	計測	553	+9.3%	750	+35.6%	656	△12.5%	496	△24.4%	688	+38.7%
	省エネ・創エネ	395	+297.1%	223	△43.5%	268	+20.2%	307	+14.6%	304	△1.0%
	脱臭	469	△17.4%	742	+58.2%	669	△9.8%	571	△14.6%	578	+1.2%
	水処理プラント	861	△19.0%	1,012	+17.5%	944	△6.7%	1,207	+27.9%	1,328	+10.0%
	医療	139	△28.4%	155	+11.5%	123	△20.6%	320	+160.2%	2,693	+741.6%
	環境関連 (メーカー)	2,418	△0.6%	2,881	+19.1%	2,660	△7.7%	2,901	+9.0%	5,591	+92.7%
	水処理関連 (エンジニアリング)	6,876	△9.8%	8,278	+20.4%	7,488	△9.5%	8,000	+6.8%	8,949	+11.9%
	風水力関連 (商社)	5,095	△14.7%	4,921	△3.4%	5,503	+11.8%	5,185	△5.8%	4,472	△13.8%
	連結合計	14,390	△10.3%	16,081	+11.7%	15,652	△2.7%	16,087	+2.8%	19,013	+18.2%
売上総利益	環境関連 (メーカー)	1,042	+10.3%	1,269	+21.8%	1,062	△16.3%	1,175	+10.6%	2,494	+112.2%
	水処理関連 (エンジニアリング)	1,984	+10.3%	2,237	+12.8%	2,047	△8.5%	2,371	+15.8%	2,825	+19.2%
	風水力関連 (商社)	1,074	△3.9%	917	△14.5%	1,146	+25.0%	1,255	+9.5%	1,143	△8.9%
	連結合計	4,101	+6.2%	4,425	+7.9%	4,256	△3.8%	4,802	+12.8%	6,463	+34.6%
販管費	2,701	+2.8%	2,676	△0.9%	2,705	+1.1%	2,819	+4.2%	3,191	+13.2%	
営業利益	1,400	+13.4%	1,749	+24.9%	1,551	△11.3%	1,982	+27.8%	3,271	+65.1%	
営業外収益	99		94		113		110		119		
営業外費用	31		43		33		29		57		
経常利益	1,468	+13.0%	1,800	+22.6%	1,631	△9.4%	2,062	+26.5%	3,334	+61.7%	
特別利益	-		-		-		-		338		
特別損失	-		-		-		28		26		
税引前利益	1,468	+13.0%	1,800	+22.6%	1,631	△9.4%	2,034	+24.7%	3,646	+79.3%	
四半期純利益	1,049	+17.0%	1,264	+20.4%	1,147	△9.2%	1,428	+24.5%	2,555	+78.9%	

セグメント別 業績推移 (通期)

		17/12月期		18/12月期		19/12月期		20/12月期		21/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
(単位: 百万円)											
受注高	計測	1,470	+31.3%	1,176	△20.0%	1,212	+3.1%	1,519	+25.3%	1,600	+5.3%
	省エネ・創エネ	762	+72.0%	583	△23.5%	600	+2.9%	642	+7.0%	1,000	+55.8%
	脱臭	1,514	+48.6%	1,372	△9.4%	1,189	△13.3%	987	△17.0%	1,200	+21.6%
	水処理プラント	2,395	+84.0%	2,222	△7.2%	2,138	△3.8%	2,094	△2.1%	2,100	+0.3%
	医療	344	△19.8%	270	△21.5%	189	△30.0%	3,729	+1873.0%	1,500	△59.8%
	環境関連 (メーカー)	6,486	+50.4%	5,624	△13.3%	5,328	△5.3%	8,972	+68.4%	7,400	△17.5%
	水処理関連 (エンジニアリング)	15,154	+31.2%	11,883	△21.6%	12,072	+1.6%	15,748	+30.5%	13,600	△13.6%
	風水力関連 (商社)	9,972	+0.5%	9,992	+0.2%	10,818	+8.3%	9,278	△14.2%	10,000	+7.8%
	連結合計	31,614	+22.6%	27,500	△13.0%	28,220	+2.6%	34,000	+20.5%	31,000	△8.8%
売上高	計測	1,247	+13.4%	1,390	+11.5%	1,304	△6.2%	1,388	+6.4%	1,700	+22.5%
	省エネ・創エネ	761	+265.9%	572	△24.8%	734	+28.3%	689	△6.1%	1,100	+59.7%
	脱臭	994	△7.9%	1,588	+59.8%	1,118	△29.6%	1,016	△9.1%	1,000	△1.6%
	水処理プラント	2,073	+25.0%	1,454	△29.9%	1,784	+22.7%	2,629	+47.4%	2,400	△8.7%
	医療	392	△19.7%	393	+0.3%	356	△9.4%	1,733	+386.8%	3,000	+73.1%
	環境関連 (メーカー)	5,468	+20.6%	5,397	△1.3%	5,296	△1.9%	7,456	+40.8%	9,200	+23.4%
	水処理関連 (エンジニアリング)	11,092	△10.8%	14,167	+27.7%	12,544	△11.5%	13,155	+4.9%	13,800	+4.9%
	風水力関連 (商社)	9,549	△11.5%	9,729	+1.9%	10,590	+8.8%	9,639	△9.0%	10,000	+3.7%
	連結合計	26,110	△6.0%	29,295	+12.2%	28,431	△2.9%	30,250	+6.4%	33,000	+9.1%
売上総利益	環境関連 (メーカー)	2,215	+21.0%	2,108	△4.8%	2,105	△0.1%	3,011	+43.0%	3,700	+22.9%
	水処理関連 (エンジニアリング)	3,039	+6.0%	3,621	+19.2%	3,355	△7.3%	3,752	+11.8%	3,900	+3.9%
	風水力関連 (商社)	1,979	+0.8%	1,827	△7.7%	2,159	+18.2%	2,246	+4.0%	2,000	△11.0%
	連結合計	7,234	+8.6%	7,557	+4.5%	7,621	+0.8%	9,010	+18.2%	9,600	+6.5%
販管費	5,516	+2.7%	5,417	△1.8%	5,596	+3.3%	5,795	+3.6%	6,200	+7.0%	
営業利益	1,717	+33.1%	2,139	+24.6%	2,024	△5.4%	3,214	+58.8%	3,400	+5.8%	
営業外収益	194		211		210		209		280		
営業外費用	62		99		65		61		80		
経常利益	1,848	+30.1%	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,363	+55.0%	3,600	+7.0%	
特別利益	-		-		-		3		-		
特別損失	-		-		-		27		-		
税引前利益	1,848	+30.1%	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,339	+53.9%	3,600	+7.8%	
当期純利益	1,353	+31.4%	1,600	+18.3%	1,512	△5.5%	2,342	+54.9%	2,500	+6.7%	



総合企画室 TEL 03-5565-2885

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。